

将来を見据えた支払手段の多様化の推進について

質問者 浜 崎 崇

経済産業省では、将来的にキャッシュレス決済比率8割を目標に掲げている。キャッシュレス推進の意義として、決済の変革が新たな未来を創造するとしている。他自治体では、キャッシュレス決済導入により支払い時間短縮や人件費削減などの効果が報告されている。町では、電子決済導入を計画的に取り組む事項として掲げており、将来的な目標として窓口や施設予約などでの支払手段の多様化の推進について所見を伺う。